

SORTKIT(32bit版) Ver1.0

セットアップカード

2009年1月
日本電気株式会社

日頃より弊社製品をご愛顧いただきありがとうございます。本セットアップカードでは、お客様にご利用いただく Express5800 シリーズの Linux 版「SORTKIT(32bit版) Ver1.0」のインストール・アンインストール方法および、ご利用にあたっての注意事項について説明させていただきます。

目 次

はじめに	3
第1章 インストール・アンインストール方法	4
1.1 インストールの準備	4
1.1.1 パッケージ内容の確認	4
1.1.2 ライセンスキーの登録	4
1.1.3 ディスク容量について	5
1.2 インストール手順	6
1.3 アンインストール手順	7
第2章 ご利用上の注意・制限事項	8
2.1 注意事項	8
2.2 制限事項	9

- Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - Red Hat は、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本セットアップカードに登場する会社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

はじめに

この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本セットアップカードでは、Express5800 シリーズの Linux 版 SORTKIT(32bit 版)（以降、SORTKIT といいます）Ver1.0 のパッケージ内容の確認、および、インストール、注意・制限事項について記述します。SORTKIT に関する詳細は、説明書「SORTKIT 利用の手引」をご参照ください。

本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。

第1章 インストール・アンインストール方法

1.1 インストールの準備

1.1.1 パッケージ内容の確認

本製品のパッケージ内容は、次の通りです。構成品がすべて揃っているか、ご確認ください。

項目番	名 称	数量	備考
1	ソフトウェアのご使用条件	1	
2	セットアップカード	1	本書
3	ライセンスシート	1	
4	CD-R 『SORTKIT(32bit 版) Ver1.0』	1	CD-R 媒体

1.1.2 ライセンスキーの登録

SORTKIT をインストールするには、事前にライセンスキーを登録してください。ライセンスキーを登録するためには、NEC ライセンス管理ツールのインストールが必要です。

本製品の CD-R 媒体に含まれる NEC ライセンス管理ツールは、Red Hat Enterprise Linux 5 をサポートしていません。そのため、使用される OS が Red Hat Enterprise Linux 3/4 と Red Hat Enterprise Linux 5 の場合で、手順が異なります。

【Red Hat Enterprise Linux 3/4 の場合】

インストールをはじめる前に、CD-R媒体に含まれる「ライセンス管理ツール 利用の手引」¹をご覧になり、以下の作業を行なってください。

1) NEC ライセンス管理ツールのインストール

NEC ライセンス管理ツールのインストールパッケージは、CD-R 媒体の "NEC-Lcsman" ディレクトリに収録されています。

2) ライセンスの登録

ライセンスの登録時に必要となる「製品型番」と「ライセンスキー」は、製品に添付されて

¹ 「ライセンス管理ツール 利用の手引」は、PDF 形式のファイルで、CD-R 媒体の下記ディレクトリに収録されています。(cdrom_directory は、SORTKIT の CD-R 媒体をマウントしたディレクトリです)

いる「ライセンスシート」をご覧ください。

【Red Hat Enterprise Linux 5 の場合】

Red Hat Enterprise Linux 5 に対応した NEC ライセンス管理ツールを以下の Web サイトからダウンロードしてください。

<http://www.nec.co.jp/sortkit/topics16.html>

インストールをはじめる前に、ダウンロードしたファイルに含まれる「ライセンス管理ツール利用の手引」²をご覧になり、以下の作業を行なってください。

1) NEC ライセンス管理ツールのインストール

ダウンロードしたファイルを展開したディレクトリの "Lcsman/RPMS" ディレクトリに収録されています。

2) ライセンスの登録

ライセンスの登録時に必要となる「製品型番」と「ライセンスキード」は、製品に添付されている「ライセンスシート」をご覧ください。

1.1.3 ディスク容量について

SORTKIT のインストール作業を行うには、/opt 配下に 3.5MB、/var 配下に 64KB、/usr 配下に 128KB のディスク容量が必要です。

² 「ライセンス管理ツール 利用の手引」は、PDF 形式のファイルで、ダウンロードしたファイルの中に含まれています。
(directory は、ダウンロードしたファイルを展開したディレクトリです)

1.2 インストール手順

以下の手順に従って、SORTKIT のインストールを行ってください。

1. スーパユーザ（ログイン名：root）でログインします。

```
login: root
```

2. SORTKITが既にインストールされている場合は、SORTKITをアンインストールしてからインストールしてください。SORTKITをアンインストールする方法は、「1.3 アンインストール手順」を参照して下さい。SGファイルを退避した場合は、インストール後に復元してください。
3. CD-ROM 装置に CD-R 媒体を挿入し、CD をマウントしてください。
4. "rpm"コマンドを使用して、インストールします。以下のコマンドでインストールを行ってください。"cdrom_directory"は、CD のマウントポイントです。

```
# rpm -i cdrom_directory/NEC-SORTKIT-1.0-1.i386.rpm
```

5. インストールが完了したら、CD をアンマウント後、CD-R 媒体を CD-ROM 装置から取り出します。

以上でインストール作業は終了です。

尚、Red Hat Enterprise Linux AS/ES 3 で使用する場合は、オンラインマニュアルを参照できるようにするために、下記のコマンドを実行して設定を変更してください。（root で実行してください）

```
# sh /opt/nec/sortkit/share/man/scripts/man_eucJP.sh
```

1.3 アンインストール手順

以下の手順に従って、SORTKIT のアンインストールを行ってください。なお、SORTKIT のアンインストール前に、SORTKIT を使用しているプロセスをすべて終了させてください。

1. スーパユーザ（ログイン名：root）でログインします。

```
login: root
```

2. SORTKIT のシステムデフォルトの SG ファイルは、SORTKIT のアンインストール時に削除されます。必要に応じて、SORTKIT のシステムデフォルトの SG ファイルの退避を行います。システムデフォルトの SG ファイルのパス名は"/var/nsort/.nsortdefaults"です。
3. 以下のコマンドで SORTKIT をアンインストールします。

```
# rpm -e NEC-SORTKIT
```

4. SORTKIT のユーザデフォルトの SG ファイルは、アンインストール時に削除されません。必要に応じて、ユーザデフォルトファイルの削除を行います。各ユーザのユーザデフォルトの SG ファイルのパス名は"\$HOME/.nsortdefaults"です。
5. 「1.1.2 ライセンスキーの登録」で登録したライセンスキーを削除します。ライセンスキーを削除する方法は、「ライセンス管理ツール 利用の手引」をご覧下さい。
6. SORTKIT 以外に NEC ライセンス管理ツールを使用していない場合、NEC ライセンス管理ツールをアンインストールします。NEC ライセンス管理ツールをアンインストールする方法は、「ライセンス管理ツール 利用の手引」をご覧下さい。

以上でアンインストール作業は終了です。

第2章 ご利用上の注意・制限事項

2.1 注意事項

SORTKIT Ver1.0 を利用するにあたって、以下の点に注意してください。

- SORTKIT Ver1.0 は、Red Hat Enterprise Linux AS/ES 3, 4 (i386、Intel 64)、Red Hat Enterprise Linux 5 base server/Advanced Platform (i386、Intel 64)で動作します。
- 本製品は 32-bit 対応版です。
- C 言語インターフェースで SORTKIT を利用する AP を作成する場合、AP からリンクされるライブラリとして、マルチスレッドで動作するライブラリとシングルスレッドで動作するライブラリの両方を用意しております。リンク時に以下のいずれかのオプションを指定してください。

マルチスレッドライブラリ : -linsert -lpthread

シングルスレッドライブラリ : -linserts

マルチスレッドライブラリを使用した場合には、SORTKIT 内部でスレッドを複数起動して動作します。1つの AP から、複数の SORTKIT を同時に呼び出すことには対応しておりません。

- 説明書「SORTKIT 利用の手引」は PDF 形式のファイルで、インストール媒体の下記ディレクトリに収録されています。(cdrom_directory は SORTKIT のインストール媒体をマウントしたディレクトリです。)

cdrom_directory/ WKH40-13.pdf

ご覧になるには Adobe(R) Reader が必要です。Adobe(R) Reader は以下の URL で入手できます。

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep.html>

- Red Hat Enterprise Linux AS/ES 4、Red Hat Enterprise Linux 5 (base server/Advanced Platform)では日本語版(UTF-8)、Red Hat Enterprise Linux AS/ES 3 では日本語版(EUC) のオンラインマニュアルをサポートしています。環境に応じて LANG 環境変数を設定して man nsort 等により参照してください。オンラインマニュアルの構成は以下のとおりです。

nsort(1) コマンドによるファイルのソート

nsort(3) C 言語インターフェースによるソートの利用

nsort(5) ソートのパラメータファイル／ディレクティブファイル／SG ファイル

nmerge(1) コマンドによるファイルのマージ

nmerge(3) C 言語インターフェースによるマージの利用

nmerge(5) マージのパラメータファイル／ディレクティブファイル

- SORTKIT をアンインストールして再インストールする場合は、SORTKIT のシステムデフォルトの SG ファイルも削除されます。必要があれば SG ファイルを退避しておき、再インストール後復元してください。
- nsort/nmerge コマンドは、正常終了時 0 を返却します。異常終了時は 2 を返却し、エラーメッセージを標準エラー出力へ出力します。

2.2 制限事項

- 入出力ファイルは、ラージファイル(2GB 以上のファイル)に対応しています。

ただし、作業ファイルは、ラージファイルに対応していないため、ソートにおいて作業ファイルが 2GB を超えるようなデータを扱う場合は、作業ファイルを複数指定する必要があります。なお、作業ファイルの制限³を超えるデータを扱うことはできません。

必要となる作業ファイルのサイズは、一般的には入力データサイズの 1.1~1.5 倍程度ですが、実際には、指定されているキー やオプションなどにより異なります。作業ファイルの最大サイズ(2GB)を考慮した数の作業ファイルを指定してください。

³ 作業ファイル 1 ファイルあたり 2GB までです。また、指定可能な作業ファイル数は 32 個までです。